【講座レポート】

複数年事業２年目

いろどり工房

令和元年７月17日（水）～
令和２年１月 21 日（火）全６回

地域にひろがる
黒松市民センター
●お問い合わせ
TEL 022-234-5346
■受付時間 9：00～21：00
●休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始
指定管理者（仙台市教育委員会指定）
公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団

手芸や工芸等の学びを通して、地域住民が誰でも気軽に集える場所を定期的、かつ継続的に開催すること、複数年事業の２年目として、この講座を地域の方にさらに知っていただくとともに、参加者同士が互いに顔見知りになることを目指して開催しました。

①包んで、結んで、楽しんで（7/17）

第１回は「ACT53 仙台」の方を講師に、昔は買い物ひとつするのにもコミュニケーションがありましたねというお話や、プラスチックの環境汚染についてお話をお聞きしました。そして、環境にも優しいふろしきの使い方を学び、「簡易バッグ」「ポシェット」「リュック」など、実用的な使い方を教わりました。＜参加者１７人＞

②夏野菜を描こう（8/8）

第２回は、地域で活躍する臨床美術士の方を講師に、夏野菜代表のきゅうりをオイルパステルで描きました。五感を使って描いていくために、きゅうりの輪切りを食べたり、においを嗅いだりしてイメージをつかんでから描きました。最後は全員で鑑賞会をしました。＜参加者１４人＞

③木工細工でオシャレな飾りを（10/10）

第３回は、黒松寿大学の運営委員でもある黒松地域在住の男性が、木工細工の講師としてデビューしました。最初は緊張ぎみでしたが、受講生に教えている間に徐々に慣れてきた様子でした。受講生同士もお互いに作品を褒め合ったり、教え合ったりして、和気あいあいとした雰囲気となりました。＜参加者１０人＞

④包んで、結んで、楽しんでⅡ（11/22）

第４回は、第１回で行ったふろしきの使い方の復習会をしました。初参加の方も多かったですが、少人数だったのでゆっくりとふろしきの「バッグ」や「ペットボトル包み」など、実用的なものを中心に復習しました。受講生の中からこんなのもあるよ、と帽子の作り方のアイディアも出ました。その後、お茶をいただきながら今後やりたいことなどをおしゃべりしました。＜参加者６人＞

⑤折り紙でブローチを作ろう（12/12）

第５回も、黒松寿大学の運営委員の１人で、黒松地域在住の女性が市民センターの講師デビューをしました。講師は事前の打ち合わせも熱心でした。今回は折り紙とマニキュアで、お花のブローチ作りです。同じように折り紙で折っても、塗るマニキュアの色や飾りつけは受講生によって様々で個性が出て、鑑賞会も盛り上がりました。＜参加者７人＞

⑥自分の作品お披露目会（1/21）

今年度最後は、いろどり工房の常連から初参加の方まで、自分の趣味でやっている手芸・工芸作品を持ち寄り、お披露目会を行いました。まず自由に作品を見て回り感想を言い合い、その後、お茶をいただきながら１人ひとり自己紹介と自分の作品の紹介を行いました。

複数年事業なので来年の方針もお伝えしたところ、ますます意欲の増している受講生もいらっしゃいました。＜参加者１０人＞

☆アンケートから☆

・大好きな風呂敷が身近なバッグに変身、新しい発見、また豊かな生活ができそうです。
・皆様の集まりが楽しくさせてくれました。／絵は苦手で大丈夫かと心配でしたが、楽しかったです。
・思いがけなく夢中に取り組めたことが大変うれしく思いました。先生の指導もよく、楽しくできました。
・市民センターでこういう講座をやってるのを初めて知りました。
・楽しく話しながら作ることができました。／難しかったけど、楽しかったです。これからも待ってます。
・来年、ボランティアをする機会があるのであれば、少しならお手伝いできると思います。